

圓だより

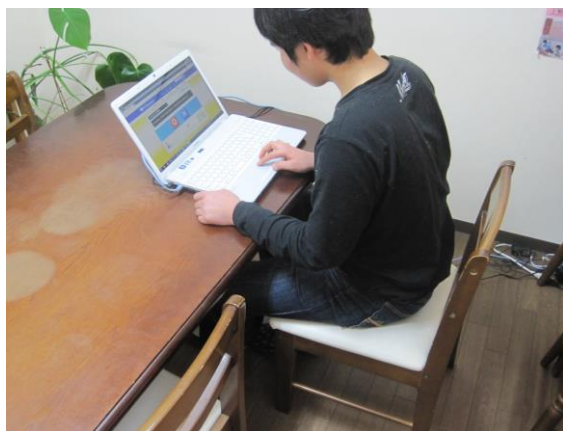
第 51 号

巻頭言

日中活動

指導員 米谷 健太

1 月の上旬に児童が仕事中に足を怪我しました。幸い足以外は怪我をせずに済みましたが、足が使えないので日常生活に支障が出ます。職員、児童で助け合いながらなんとか生活しています。足に怪我をして出勤できないので本人と日中どのような生活を送っていくのか相談して行っています。また、会社からも仕事の道具を覚えること、入社してからの振り返りと反省点を書くようにと課題が出ています。仕事に出れない時間を有効に活用する事で、今後の生活に自信ややる気に繋がればと思います。



る事で、今後の生活に自信ややる気に繋がればと思います。

圓での日中活動としては原付の免許を勉強し資格を取る事を本児と話し合い進めています。今まで原付免許に興味がありませんでしたが、原付免許を習得する事で活動範囲が広がる事を説明したり、免許を持っている事でのメリットを説明すると、少しずつではありますが興味をわいて来たようです。

最初は本を見ながら勉強し暗記できたかを職員が確認をする勉強方法でしたがなかなか本児の気持ちがついてきていないように思えました。他の方法を考えパソコンのインターネットを使い問題を解くことにしました。すると今までの方法よりも集中して行う事ができています。最初はパソコンの使い方に悪戦苦闘し、原付の問題に頭を抱えている事が目立ちましたが、少しずつではありますがパソコンの操作も覚え原付の問題の正解数も少しずつ増えています。本児も正解数が増えることで楽しくなっているようです。

他の時間では本を読み、感想文を書いてもらい文章表現の勉強をしたりしてもらい児童にとって将来必要な知識を増やす努力をしています。

今後も児童が怪我をしたり、病気になった時には空いた時間を有効活用しプラスになるような活動を児童と話しながら考えて行きたいと思います。

調理実習/お弁当作り



現在、自立して生活して行くための一歩として 2 人の児童が毎日職場に弁当を持って行っています。今までの弁当と言え、ご飯に冷凍食品のおかずが定番でした。

最近入所した A 君は、入所前の施設では朝食のおかずとして炒め物程度の調理経験があるので、本児の希望もありその経験を活かして弁当作りをすることに決定!! 調理方法は朝早く出勤するので、夜に職員と一緒に調理をし、翌朝温めて持っていくことになりました。

まず野菜炒めにチャレンジです。料理をしたことのある A 君は手際よく玉ねぎを切り、キャベツ・肉を炒め完成させました。野菜炒めと言っても味は焼き肉のタレ・塩胡椒・ケチャップと味のレパートリーを増やしていています。それを職員と一緒に考えるのも一つの楽しみであり、コミュニケーションもバッチリとれています。

また、ある日曜日は調理師を目指している B 君が進んで夕食を作ってくれました。包丁さばきも立派な物です。味付けも考えて調理するなど、さすがだと思いました。今後も児童と弁当作り、調理実習をしていければと考えています。

職員の調理の腕も大分上達しました。



ご報告 この後、勤務先まで弁当を配達してくれる業者が見つかり。現在は弁当を持参していません。

入居者達の様子

・15 歳男児・・・冬休みが終わり、いつものように仕事が終わってから学校に登校する生活に戻りました。久しぶりのせいか少し疲れており就寝時間がいつもより少し早いです。学校の方はいよいよ本格的に部活がバスケットボールに変更になるとのことでいつもと違う筋肉を使い疲れてしまうとのことです。仕事の方はもう大丈夫とのことでした。また、念願の携帯所持まであと少しの所まで来ているので、いつも以上に頑張っています。

2 月の目標 圓の生活ルールを守る。

テストを頑張る

・16 歳男児・・・仕事では後輩が足を怪我してしまい、その分をカバーしようと必死になって働いています。残業で帰園時間が遅い日もありますが、本人なりに体調管理をして頑張っています。そのせいか休みの日に外出する事が減ってきている気がします。休みの日にしっかり遊んでリフレッシュしてもらいたいですが、疲れがとれないといけないので難しいところです。

2 月の目標・・・1 人が怪我をして休んでいる為、自分に 2 人分の負担がかかってき、焦り一杯一杯になって (テンパって) しまうので、一つ一つの事を確実にし、焦らず怪我に注意し仕事に取り組む

15 歳・・・仕事も順調に行っていましたが、仕事中に足を怪我してしまい現在圓にて安静にしています。本人も自分の不注意でおこったことなので反省している様子が伺えます。怪我をして出勤できない分原付免許の勉強をしたりして有効に時間を活用できるように行動しています。しかし足が使えないので生活全般に苦勞しています。一日でも早く治して元気に生活、仕事をしてもらいたいです。

2 月の目標・・・怪我を治すことに集中する。

引き続き整理整頓を心がける。

ホーム会



先月のホーム会では忘年会、退所祝いを兼ねて久しぶりに外食に行きました。

久しぶりの外食ではバイキングに行きました。同じものばかり食べる児童やバランスよく考えて食べる児童など普段では見られない姿を見ることが出来ました。

なかなかみんなでお外食に行く事ができないのでとても楽しんでいるように見えました。

毎月のホーム会が外食だったらいいのになあと言う児童もいました。

最後まで食べる児童、職員。帰園後に食べすぎたと言う児童。最後にラーメンを食べておけばよかったと話す児童もいました。よく食べるなど感心するばかりです。

誕生日

誕生日おめでとう。16歳を迎えました。

A君にとっては、入所して初めての誕生日です。

A君の為に、入所児童B君が、1人で材料から調達し手作りケーキを作ってくれました。



夕食の献立は彼からの希望で唐揚げでした。皆でご飯を食べ、ケーキを食べました。いつも無口なA君ですが、この日は終始照れた様子で口元から笑みが消えることはありませんでした。

食べ終わった後、小さい声で「B君の誕生日には僕がケーキを作りたい」と言ってきました。自分の意思を伝えることが不得意なA君にとってはとても勇気がいることだったでしょう。しかしきちんとB君の優しさに答えたく頑張ったのだと思います。A君の頑張りとおしさを同時に感じ、外は寒い冬ですが食堂だけは、暖かい春のように感じました。

私の自慢の1つは、圓の児童は優しい。人の気持ちに答える原石を心の奥底に持ち備えている児童ばかりだということです。その原石を今以上にピカピカ光るようにお手伝いさせて頂いているのが我々職員だと思い日々精進していきます。

利用状況 2月1日現在 (定員6名)

	15歳	15歳	16歳
男子	1	1	1
女子	0	0	0
就労	調理	建設	建設
学校	定時		

編集後記： 児童が足を怪我して毎日圓にいます。たまには外出したいと言いますが、足を怪我しているため外に出ることが難しい状況です。職員として何か趣味を提供できればと思います。(米谷)

ご相談・お問合せ受付

急激な社会変化の中で自立した生活を迫られた青少年の心の拠り所の「家庭」となり社会に適応できるよう生活・就労等の支援をしています。

入居ご希望の方、子育てに関する悩み・不安などをご相談お受けします。まずはお電話にてご連絡ください。秘密は厳守します。



〒761-8053

香川県高松市西ハゼ町 338 番地

TEL (087)813-7720

FAX (087)813-7721

ホームページ <http://4on.or.jp/>

※HP が新しくなりました

メールアドレス

madoka753@sky.plala.or.jp

発行責任者 野田 大燈

